



《こども版》 としょかんだより No. 304

2009年

10月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします—

「ぐぎがさんとふへぼさん」

岸田 衿子／作 福音館書店



四角いぐぎがさんのやいたホットケーキは、かちんかちんのホットケーキ。かなづちでわらないとたべられません。ふへぼさんのやいたホットケーキは、ふうせんみたいにふくらんでうかんでしまいます。正反対なふたりですが、とってもなかよし。きょうはいいおてんきなので、ふたりはうみにでかけました。

「みなとのチビチャーナ」 ★ 山下 明生／作 講談社

リョウくんとお父さんは、手作りの小さなヨット「チビチャーナ」を作りました。2人は「日よう日までに、水になれさせよう」とチビチャーナをみなとの岸につないでかえりました。でも、日よう日になっても、リョウくんたちはあられませんでした。



「牛太郎、ぼくもやったるぜ！」 ★★ 堀米 薫／作 佼成出版社



小学4年の健太郎の家は専業農家で、「黒毛和牛」という品種の牛を飼っています。ある日、牛のお産を手伝った健太郎は、生まれた子牛の名付け親になりました。母牛と別れてたくましく育つ牛太郎。教室でいじめられている健太郎は、ぼくもいじめっ子なんかには負けてなんかいられないとふるいたちました。

あたらしくはいった本

えほん

「リンゴのたねをまいたおひめさま」

ジェーン・レイ／作 徳間書店



むかし、ある国に王さまとおきさきさまと三人のおひめさまがいました。ところが、おきさきさまがなくなってから、土地はかわいて国の人々も貧しくなりました。ある日、王さまは三人の娘たちに「七日七ばんのうちに、国をおさめるのにふさわしい、すばらしいことをしなさい。それを見て、あとつぎをきめることにしよう」といいました。

ものがたい

「たんていピンポン!!」 ★ 舟崎 克彦／作 小学館



テムズ川のほとりの、アパートの1かいに「たんていピンポン」のじむしょがあります。なかなかうでのよいたんていですが、いかめしい顔つきなので人気がありません。ある晩、ネズミのおじょうさんが「だれかにつけねられている」とかけこんできました。



おしえて、世界のおはなし イギリス



正式国名は、グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国。首都ロンドンは「霧の都」と呼ばれ、名探偵シャーロック・ホームズが活躍する舞台です。また、町には名物の赤い2階建てバスが走っています。

「ピーター・ラビット」シリーズ ビアトリクス・ポター／作 福音館書店

「不思議の国のアリス」 ルイス・キャロル／作 福音館書店

「ガリヴァー旅行記」 ジョナサン・スウィフト／作 岩波書店

「ハリー・ポッター」シリーズ J. K. ローリング／作 静山社

ものがたい

「ルルと魔法のぼうし」 ★★

スーザン・メドー／作 徳間書店



12歳の女の子ルルは、小さいときにマジック一座にひろわれて育ちました。今年の夏休みは、ほんものの魔法使いであるジェリーおじさんの助手としてツアー公演と一緒にでかけます。ある日、ルルはおじさんの古い衣装箱でみつけた黒いシルクハットをかぶってみると、手品ができるようになりました。

「ノエル先生としあわせのクーポン」 ★★★

シュジー・モルゲンステルン／作 講談社



新学期、シャルルは、わくわくしながら5年生の教室へむかいました。ところが、担任のノエル先生は、しわだらけの太ったおじいさん。おまけに、「ねぼうする券」「宿題をなくす券」「わすれ物をする券」「しかられない券」など書かれたクーポンをクラスのみんなにプレゼントしたのです。

「ベラスノアとキックオフ！」 ★★★ 片平 直樹／作 福音館書店

ぼくの町のプロサッカーチーム「ロケットイー」は伝統のあるチームです。ぼくは、おかあさんに内緒であこがれの「ロケットイー・ジュニア」チームの入団テスト申込書を送りました。ある日、10年以上会っていない元ロケットイーの花形プレイヤーだった父が突然家に帰ってきました。



ちしきの本

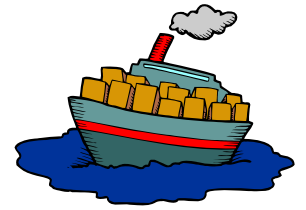
「食料自給率がわかる事典」 深光 富士男／作 PHP研究所



食料自給率とは、日本で食べられている食料の量と、日本で作られている食料の量を比べた割合です。日本の自給率は、先進国の中でももっとも低く40%です。穀物や野菜、肉、などを種類別に分析し、「食べ物」の大切さを知ることができます。

名作をよもう!

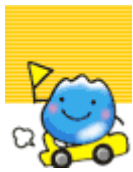
今月の1さつ



「トム・ソーヤーの冒険」 ★★★

マーク・トウェイン/作 岩波書店

ミシシッピ川ほとりの小さな村に、トムはポリーおばさんと暮らしています。いたずらっ子で冒険好きのため、いつも問題を起こしておばさんを手こずらせています。ある日、トムは罰として高く長い家の板塀を白くぬるようにつけられました。トムは、わざと楽しいふりをして塀塗りをしていると「リンゴをあげるからさせて」と友だちが言いました。トムは、次から次と現れる友だちの宝物と交換しながら仕事を終わらせました。



とやまし あ・れ・こ・れ

いの たに せき しょ かん
猪 谷 関 所 館

国道41号線を南に行くと、岐阜県との県境近くに猪谷関所館があります。昔、関所では飛騨街道の通行人の監視や、米や塩、魚、木材などの荷物に税金を課す役目をしていました。ここでは、昔からの人やものの行きかいの移りかわりがわかります。また、神通峡の紅葉も楽しめますよ。



読書にぴったりの季節です。みんなも、おもしろい本に出合ってね。

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272

